

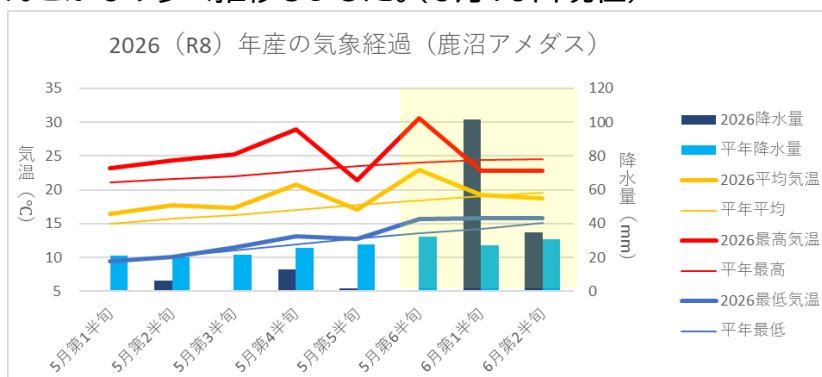
令和8(2026)年産 水稻生育診断速報第2号

令和8(2026)年6月15日
上都賀農業振興事務所

- 5月の連休移植では、茎数が確保されているため、速やかに「**間断かん水**」を開始しましょう。
- 斑点米カメムシ類の初期飛来を防ぐため、雑草防除を行いましょう。
- 葉色が濃いため、葉いもちの発生に注意しましょう。

気象経過(5月第6半旬～6月第2半旬・鹿沼アメダス)

平均気温は、5月第6半旬で高くなりましたが、6月第1～2半旬では平年並～低くなりました。期間の降水量は、台風6号の影響もあって、151%とかなり多く推移しました。(6月10日現在)



調査結果の概要(コシヒカリ)

過去5年の平均と比べ、草丈は「やや長く」、葉色は「濃い」状況で、葉齢は「1葉程度進んで」いました。

(調査データ)

調査地点	項目	草丈 cm	茎数 本/m ²	1株茎数 本/株	葉齢	葉色板	
						葉色板	SPAD
日光市木和田島	今年	38.8	404	21.5	9.1	4.3	42.0
	過去5年平均	37.2	447	23.2	8.1	4.0	40.3
	平均差・比	1.6	90%	93%	1.0	0.3	1.7
鹿沼市久野	今年	35.1	299	18.7	9.1	4.3	38.5
	過去5年平均	33.1	255	16.0	8.0	3.4	35.0
	平均差・比	2.0	117%	117%	1.1	0.9	3.5

※移植日は、日光市5/4、鹿沼市5/5

今後の技術対策

(1) 目標

5月上旬移植のほ場や地力の高いほ場では、既に必要茎数が確保されているほ場が多いため、**速やかに「間断かん水」を開始**しましょう。移植が遅いほ場では、6月第2半旬の低温の影響の可能性があるので、**必要茎数を確保してから、「間断かん水」**を始めましょう。

必要茎数:18～20本/株

※移植60株/坪の場合。生育が中庸な株の平均。

(2) 斑点米カメムシ対策:初期飛来を防ぐため、水田内の除草と畦畔の除草を行いましょう。

(3) いもち病(葉いもち)対策

:6/8に、鹿沼、塩谷、宇都宮で準感染好適日が出現しています。ほ場を見回り、発生時には速やかに薬剤散布をしましょう。

<現在の稲の状況(6月10日撮影)>



写真1 日光市木和田島



写真2 鹿沼市久野